

試験結果報告書

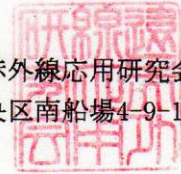
No. 211E- 285

平成 23 年 5 月 27 日

株式会社ワーセラ 殿

遠赤外線応用研究会

〒542-0081大阪府中央区南船場4-9-11



試験試料 Bhadoお元気フェイス

測定機器 生体信号処理装置 フットテクノ製 ALPHA MASTER

測定環境 天候:曇
室温:平均温度20.0℃
湿度:平均湿度43%

測定

健常な成年男子(51才)を被験者とし、10分間安静状態を保った後、まずコントロールとして未使用状態で2分間の脳波を測定した。次いで、Bhadoお元気フェイスを20分間使用し、直後の2分間の脳波を測定した。同様の試験を2日目も測定した。

国際脳波学会用語委員会により、定められた脳波の各周波数は次の如くである。

- θ波:4Hz以上8Hz以下のもの
- α波:8Hz以上で13Hz以下のもの
- β波:13Hzより高いもの

結果

測定した脳波スペクトル変化を別グラフに、数値を下表に示す。

Bhadoお元気フェイスを使用することでリラックス状態を示すα波が増加していることから、いやしの効果があるといえる。

	θ波	α波	β波	α波の増加値
初日 使用前	10.0	18.3	71.7	21.7
初日 使用20分後	18.3	38.3	43.3	
2日目 使用前	8.3	20.8	70.8	
2日目 使用20分後	24.2	40.0	35.8	